

# 報 廣 報 廣 報 廣

第102号

編集発行  
香川自治会  
報委員所  
版印刷

香川の人口  
9,753人  
男 4,850人  
女 4,903人  
香川の世帯数  
2,887数  
(元 4.1 現在)

## 「頭脳之力」と「数の力」で

自治会長 熊 沢 幸 一

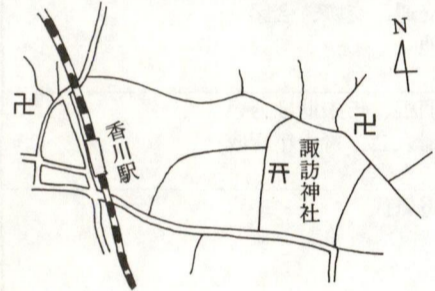
自治と連帯の社会をめざし、さらに行政に向かって対応していく重点策をまとめ、行政の機能を積極的に利用し、進展を計ることを真剣に考えなくてはならないときと思っています。



平成元年、春陽の候、会員の皆様方には、ますますご健勝の事と、お喜び申し上げます。昨年の組長さんには、新しい仕事の一步を踏まれ、一年間よく地域のために頑張っていたいただき、深く感謝申し上げます。今期自治会役員の任期もあと一年となり、住みよい地域の向上にと、無駄なく、むらなく施策を練り、最後の締めを飾りたいと役員一同、心をひきしめております。会員皆様方には、それなりに要望や、将来に向かっての意見等もお持ちのことでありましょう。今年には旧に倍して皆様方と共に、総力を挙げての地域作りに取り組んでいきたいものです。さて、これからの、市の北部にある香川自治会としては、

相模線の電化、増発は決定し、香川は、ますます人口増加の様相をたいて、北部の拠点ともなりうる素質をもってきました。農住地区での自然環境も悪化しないよう各人、それぞれに考える時代に入りました。この先十年たったら香川は一体どのような変貌することでありましょう。今後望みたいことは、一、環境、衛生関係の機関として、住みよい環境の創造と保全を目指していくことは肝心のことです。それには、一人一人がその認識と実行力をもたなければなりません。一、高齢化社会への対応、香川の自然環境を活かした福祉運動の展開、それによる健全な町作りの為の会員の意識づくり。一、下水、雨水処理対策とし

## 香川の史跡シリーズ



### 庚申塔

第一、第二汚水幹線及び下水道等は工事進行中であり、二年のうちには幹線工事は完了の予定となり、については、全域末端使用の時期の促進をしたい。

で第一、第二汚水幹線及び下水道等は工事進行中であり、二年のうちには幹線工事は完了の予定となり、については、全域末端使用の時期の促進をしたい。

町名変更も市内では北部へと進んできて、香川も数年の内にはその時期が来ますが、今からその構想を考え練り挙げていくことも必要であります。「香川自治会規約改正」等が挙げられます。最後に、近年の社会情勢の

香川の古い方の庚申塔は、「願文」が多く九行にも及ぶめずらしいもので、「大日本國関東道相模州高座郡大庭庄香川村……」とあり、三猿形式で笠付型である。もう一つは山状角柱形で、「庚申塔」と大きく書かれた文字塔である。

香川には、庚申塔が諏訪神社境内に二基ある。以前には近くの山王山にあったという。向かって右の大きい方は古く、江戸時代初期の寛文十年(一六七〇年)のもので、石の風化がいちじるしく、文字の判

読がむずかしい。左の方は江戸時代後期(一八〇四年)のもので、文字塔である。庚申塔は、道端や、神社、寺にある石の塔で、猿や、青面金剛や、「庚申塔」と大きく書いた文字などが彫ってあり、茅ヶ崎市内には百基近い塔がある。

庚申信仰の起源をたどると平安時代にさかのぼる。中国に留学した天台宗の僧、円仁が残した書物に、承和五年(八三八年)のことで、夜ねむらないということが書かれている。人々が庚申の日の夜、ねむらないのはなぜか。三戸説は、中国の道教で、人間の体の中にいる三匹の虫が、庚申の日の夜、人々がねているときに、天帝に人のおかした罰を報告にいくという。

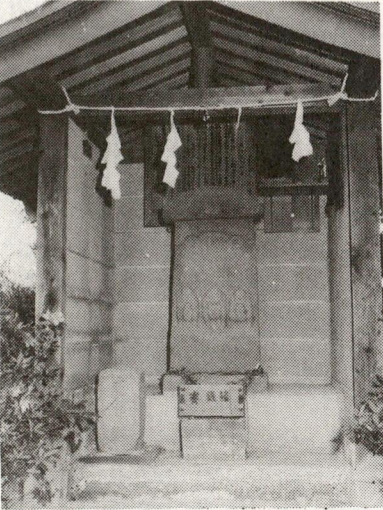
## 町内会中心の活動を!!

### 第一回役員会開かれる

平成元年度の第一回役員会が、去る四月二十五日午後七時半より香川自治会館に於いて開催された。

尚、五月二十日に行われる予算評議委員会にむけて、各部で事業計画と予算案を作成し提出するように、との石嶋総務委員長の連絡があった。

その他、防犯灯の管理、体育委員会(四月二十九日)の予告、特別委員会として規約改正委員の設置(二十四名)などが協議された。午後九時半に終了。



復雑化にともない、郷土意識のうすい町にならないよう「頭脳之力」と「数の力」で格調高い町づくりを目指して、

皆様方の心の結集をお願いするものであります。

# 昭和63年度 決算報告(一般会計)

平成元年3月31日

(単位 円)

科 目		63年度予算	63年度決算	比率	摘 要
収入の部	繰越金	1,385,857	1,385,857	100	静相普通預金 1,220,150円、現金 165,707円
	正会員会費	7,794,000	7,817,450	100	2,659世帯
	特別会員会費	168,000	156,400	93	32世帯
	交付金・補助金	2,080,000	2,181,588	105	自治会運営、防犯灯、広報配布、自主防災
	寄付金・受取利息	300,000	263,402	88	盆踊り、敬老の集い、文化祭、他
	雑収入	200,000	261,840	131	共同募金、日本赤十字、追善
合 計		11,927,857	12,066,537	101	

科 目		63年度予算	63年度決算	比率	摘 要	
支出の部	経常費	会議費	200,000	151,080	76	役員会、評議員研修
		事務消耗品費	250,000	276,640	111	コピーセット交換、コピー用紙、その他事務用品
		旅費・交通費	200,000	161,500	81	会長出張費、役員行動費
		交際費	100,000	100,000	100	会長出席祝儀、他
		報酬手当	693,000	693,000	100	伝達員手当
		防犯灯・光熱費	1,020,000	962,229	94	防犯灯電気代
		防犯灯・修理費	605,000	571,890	98	
		廃棄物対策費	5,000	0	0	
		防災費	300,000	317,130	106	防災訓練、町内防災倉庫及び備品
		通信費	64,000	66,000	103	役員通信費
	雑費	170,000	119,900	71		
	事業費	町内会活動費	560,000	560,000	100	
		広報委員会	620,000	620,000	100	広報印刷、取材、写真、会議、消耗品、備品
		環境整備委員会	440,000	440,000	100	駅前、町内清掃、海岸清掃、床下消毒、ポスター展
文化厚生委員会		720,000	720,000	100	文化祭、敬老の集い、盆踊り、会議	
消防委員会		500,000	500,000	100	訓練、活動、研修、交通、交際、会議	
総務委員会		200,000	120,000	60	組長会、賀詞交換、他	
募金・団金	会計委員会	15,000	7,485	50	会議	
	募金・協賛金	1,700,000	1,666,540	100	日本赤十字社、赤い羽根、年末助け合い	
	各種団体助成金	280,000	280,000	100	寿クラブ、子供会、婦人会、青少年育成	
	体育振興会	250,000	250,000	100	助成金	
特別経常費	特別会計支出金	1,300,000	1,238,998	95	給料、電話、水道、電気代	
	備品費	60,000	0	0		
	自治会館償却引当金	0	0	0		
	予備費	1,675,857	1,317,437	79	体振20周年記念、組長記念品、他	
合 計		11,927,857	11,139,829	93		
次期繰越金			926,708			

## 自治会館特別会計

(単位 円)

科 目		63年度予算	63年度決算	比率	摘 要
収入の部	繰越金	452,169	452,169	100	農協普通預金 452,169円
	会館使用料	700,000	818,910	117	会館使用料、コピー、電話、備品貸出、香川のあゆみ
	雑収入	70,000	77,500	111	建更共済割戻、利息
	一般会計繰越金	1,300,000	1,238,998	95	静相引落金、現金
合 計		2,522,169	2,587,577	103	
支出の部	自治会館償却引当金	200,000	200,000	100	
	水道・光熱費	200,000	202,018	101	電気、水道、プロパン、灯油
	通信費	66,000	57,320	87	電話料
	消耗・事務費	21,000	10,320	49	日用品
	備品費	50,000	0	0	
	清掃費	46,000	30,200	66	浄化槽、ダスキンレンタル料
	修繕費	200,000	27,400	14	会館修繕、他
	報酬手当	990,000	990,000	100	管理人給料
	雑費	749,169	241,000	32	建更共済
	合 計		2,522,169	1,758,258	70

### 茅花会俳句

熊沢 幸一  
せせらぎやあちらこちらの岩燕  
白木蓮遠く近くに響の声  
長島 久江  
落人の里とまだ云う鯉のぼり  
万太郎話題となりぬ春の月  
沓沢 みや  
春月や母に揃へし庭草履  
明王の乳首の二つ諸葛菜  
藤村 球子  
隣家の灯消えてしまひぬ春の月  
雨音の傘にころがる屋蛙  
碓 百合子  
棚の下暮れ切つてをり梨の花  
渡り来し橋脚赤し陽炎へる  
平塚 司郎  
藤仰ぐ鴈広帽を風が折り  
胡麻豆腐いたたく心地春の月

### ご愛読に感謝

#### 広報委員一同より

香川自治会はご存じのとおり、市内でも有数の大自治会であり、活動ぶりも際立っています。

私たち広報委員は、このすぐれた香川自治会の役員と一般会員の心を結ぶきずなとして、よりよい「広報かがわ」を発行すべく努力を重ねてきたつもりですが、このような仕事に慣れた者の集まりで気がかりあせって読者の皆様に必ずしもご満足をいただくことができなかったことを深く反省しております。

しかし、百号記念号の発行や「香川の史跡シリーズ」の連載など、かなりのご評価を頂戴しましたことを感謝し、今後も、新しい企画によって、より充実した広報づくりをしたいと思っておりますので、よろしくご指導を賜りますようお願い致します。